

事業所名

放課後等デイサービス ぐりん

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

1日

法人（事業所）理念		心の中の「楽しい」を生み出し幸せを追求する。								
支援方針		小さな成功体験で「できた」を増やす。できることが増えて「自信」につながる。考え方もポジティブになっていき「自己肯定感up!」を目標に、どの子も笑顔・成功・自信がもてるように個別支援・集団支援をする。								
営業時間		9時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また子どもの心身の状態をきめ細かに確認し平常とは異なった状態を速やかに見つけ出し、必要な対応をする。子どもが食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、生活の場面における環境の工夫を行いながら子どもの状態に応じて適切な時期に適切な支援をする。								
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。保有する視覚、聴覚、触覚、臭覚、固有覚、前提覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。								
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。また、こだわりや偏食等に対する支援をする。感覚や認知の隔たり、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援をする。								
	言語 コミュニケーション	話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるように支援する。障害の種別や程度、興味・関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機器等を用いて意思のやり取りが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるように支援する。								
	人間関係 社会性	子どもが基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感・人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援をする。アタッチメント（愛着）の安定自身の感情が崩れたり、不安になった際に、大人が相談にのることで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるよう「安心の基地」の役割が果たせるよう支援する。集団に参加するための手順やルールを理解し、子どもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるように支援するとともに、共に活動をするを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援する。								
家族支援		家族の意向を把握し、尊重して支援計画を立てて進めていく。				移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた取り組み、事業所以外での生活や育ちの場の充実に向けた取り組み、地域とつながりながら日常生活を送るための取り組みをする。（例：外食体験・買い物体験・図書館・消防署見学）		
地域支援・地域連携						職員の質の向上		強度行動障害支援者養成研修、毎日のミーティングでの事例検討、事業所内研修、外部研修等		
主な行事等		避難訓練、スポーツフェスティバル、夏祭り、バーテンダーになろう、運動会、ハロウィン、クリスマス会、マジックショー、初詣、豆まき、ひな祭り								